

インターネット情報の危うさ

京都工芸繊維大学工芸学部物質工学科 藤田眞作

2年ほど前、本誌の前身である JCPE Journal の巻頭言で、「デジタル原稿の永続性」について述べた。その後のインターネットの発展により、「デジタル原稿の永続性」という個人的な問題を超えて、「文化の継承」という視点を強く意識せざるを得ない状況になってきた。

学術情報は、従来、学術雑誌という冊子体によって流通してきた。もちろん、年ごとに開催される学会や討論会で発表する手段もあるが、最終的には査読制度の整った学術雑誌に掲載するという形で、学術情報を伝達してきた。さらには、これらの原情報を検索するための抄録誌が用意されている。このような伝達制度は、学会という科学者共同体の成立に応じて、形を整えてきており、伝達された学術情報の総和が、科学者共同体の文化を形づくっている。

科学者共同体の文化は、査読制度による「権威づけ」と「優先権の保障」、抄録作業を通じた「選別」によって、情報の質を保ってきたといえる。とくに、化学の分野では、元素や化合物という形で情報を整理することができ、しかも、整理された情報は、共通の知識として、その価値は未来永劫変わらない。質を保障された情報は、冊子体という物理的媒体により、実体として固定され、残される。文化とは、「ある時点で固定された情報」の累積である。この小文では、科学者共同体の「文化の継承」を、この文脈で考えることにしよう。

この数年のインターネットの普及は、ホームページを開設すれば、だれでも情報を発信できるという状況を作りだした。このことは、科学者共同体がおこなってきた「権威づけ・優先権保障・選別」の埒外にある情報が生まれ続ける結果となる。情報に関する一種の無政府状態が、インターネットにはつきまとう。情報の質をだれが保障するのか。

最近、オンライン雑誌という形態の学術誌が出現している。これは、査読制度による「権威づけ」と「優先権の保障」により、情報の質を保つという旧来の方法を踏襲している点で、冊子体の学術雑誌の精神を継承しているといえる。しかしながら、そのウェブ(Web)サイトは消える可能性があることに留意しなければならない。消えてしまえばおしまい、存在したことの形跡さえなくなる。コピーが残ったとしても、同一性が保障できないかぎり(この保障ははかぎりなくむずかしい)、もとの権威は回復できないだろう。これは、冊子体がどこかに残りうることや残った冊子体のそれぞれが同一性をもちうることに比べて、おおきな違いである。また、オンライン雑誌の投稿手段として、特定のソフトウェアが指

定されることも問題である。現用のソフトウェアは不滅ではなく、作っている会社は倒産する可能性がある。

学術雑誌の体裁をなぞっているとはいえ、オンライン雑誌が、ある時点の情報を固定するといえるかという点、そうでもないことが少し考えればわかる。善意のシステム管理者といえども、操作の誤りによる変更のある可能性があり、ましてや、悪意のある第三者によれば、むずかしいかもしれないが、改竄が可能である。

では、どうすればよいのか。現実的な方向は、冊子体とウェブ文書(たとえばオンライン雑誌)の併用である。冊子体は、印刷された時点で情報を固定する役割をもち、文化の継承を保障する。ウェブ文書は、情報の取得や検索の利便を与える。結論は、きわめて平凡なものになってしまったが、インターネット上のウェブ文書にたよりきることの危険性をあらためて強調したい。

会告

目次

1. 会員継続のお願い	A-73
2. 新会員募集のお願い	A-74
3. 日本コンピュータ化学会 2004 春季年会発表論文および参加募集	A-74
4. 日本コンピュータ化学会 2004 秋季年会参加者募集	A-75
5. 日本コンピュータ化学会 2003 年 10 月度役員会報告	A-76
6. 日本コンピュータ化学会 2003 秋季年会収支報告	A-79
7. 日本コンピュータ化学会学会賞表彰規定	A-81
8. 日本コンピュータ化学会 学会賞表彰規定細則	A-82
投稿規定(抜粋)・投稿カード	A-83

会員継続のお願い

2003年12月31日をもちまして日本コンピュータ化学会2003年度会員の期限が満了となります。現在会員の皆様にはぜひ次年度も継続していただきたく思います。継続方法につきましては同封させていただいております振替用紙をご利用の上ご入金ください。ご入金の確認をもちまして会員継続とさせていただきます。

尚、法人・賛助会員の方には請求書を送付させていただいております。学会誌等の送付先に変更のある方はその旨ご連絡ください。連絡先はE-mail office@sccj.net またはFAX 03-5812-1351 へお願いいたします。

2004年度年会費は次の通りです。

<個人会員> 5,000円

*65歳以上の方は2,000円となります。

<学生会員> 3,000円

<法人会員> 20,000円

<賛助会員> 50,000円

会費振込先：

郵便振替口座 00140-2-89762 加入者 日本コンピュータ化学会

銀行 三井住友銀行浅草橋支店 普通 1073721

名義人 日本コンピュータ化学会 (*振込手数料はご負担ください)

新会員募集のお願い

日本コンピュータ化学会 (SCCJ) は、日本化学プログラム交換機構 (JCPE) と化学ソフトウェア学会 (CSSJ) とが発展的融合を目指して発足いたしました。すでに会員数が、個人会員 827 人、学生会員 32 人を越えております。すでに会報も本号で 8 号となっており、質の高い論文誌として注目を集めております。一層の会員増強のキャンペーンに会員諸氏のお力添えを強くお願い致します。

新学会の活動は、論文誌 Journal of Computer Chemistry, Japan (JCCJ) の発行 (年 4 回発行予定) 討論会、セミナー、講習会の開催、その他会員間の情報交換等があります。JCCJ は Web でも公開され、世界中の広い読者に読まれております。また、本年 5 月 19

20 日には研究発表中心の日本コンピュータ化学会 2003 春季年会が開催されました。秋には、プログラムのデモを主体とする秋季年会が 10 月 25 日(土) 26 日(日) 広島大学で開催されました。特に秋季年会は高校教諭等の参加を可能とするために、休日に開催されます。2004 年 5 月 20 日(木) 21 日(金) には、日本コンピュータ化学会 2004 春季年会が東京工業大学にて開催される予定です。

2003 年からは、学生会員に対する割引に加え、65 歳以上の方への割引も開始いたしました。この制度は、学会費のみならず、学会参加費等にも導入され、65 歳以上の方の学会活動を支援いたします。

学会のホームページは、<http://www.sccj.net> です。ここから本学会への入会案内、イベント情報をはじめ多くの情報を得ることができます。本学会の活動にご興味をお持ちの方がおいででしたら、積極的に入会をお勧めください。よろしくお願いいたします。

日本コンピュータ化学会 2004 春季年会発表論文および参加者募集

日本コンピュータ化学会 2004 春季年会が下記の通り開催されます。積極的な御参加を期待します。詳細は、以下のホームページをご覧ください。

主催：日本コンピュータ化学会(SCCJ)

(日本コンピュータ化学会は、日本化学プログラム交換機構 (JCPE) と化学ソフトウェア学会 (CSSJ) の発展的合意により 2002 年 1 月に発足した学会です)

共催：日本化学会、日本薬学会、高分子学会、触媒学会、化学工学会、他

会期：2004 年 5 月 20 日(木) 9 時 30 分 ~ 21 日(金) 18 時

会場：東京工業大学大学院社会理工学研究科棟 大岡山西 9 号館 2 階

東京工業大学大岡山キャンパス：東急目黒線大岡山駅より徒歩 1 分

交通案内地図：<http://www.titech.ac.jp/access-and-campusmap/j/access-j.html>

東京工業大学大岡山キャンパスマップ：西地区

<http://www.titech.ac.jp/access-and-campusmap/j/o-okayama-campusmap-j.html>

大岡山キャンパス西地区マップ：大岡山西 9 号館

<http://www.titech.ac.jp/access-and-campusmap/j/o-okayamaO-j.html>

研究発表：

種別：口頭発表（発表時間 20 分）、ポスター発表（発表時間 90 分）、

研究展示<デモ>（最大 10 件 2 日間！先着順です）

内容：計算化学（分子軌道法、分子力学法、分子動力学法、モンテカルロ法など）、
理論化学（電子状態理論など）、情報化学（データベース、ケモメトリックスなど）、
数理化学、コンピュータ支援化学教育、その他、コンピュータ化学に関する研究発表

発表申込締切：2004 年 2 月 13 日(金)までに、学会ホームページ (www.sccj.net；詳しくは下記)からお申し込みください。

<http://www.sccj.net/event/nenkai/2004sp/nenkai2004sp.htm>

発表要旨締切：3 月 29 日(月)までに、学会ホームページ(www.sccj.net)をご覧ください。

企業展示：3 月 29 日(月)までに、学会ホームページ (www.sccj.net) よりお申し込みください。出展費用は 100,000 円（1 ブース/2 日間）となっております。

参加申込締切：3 月 29 日(月)までに、下記からお申し込み下さい（以降は当日登録となります）。<http://www.sccj.net/event/nenkai/2004sp/nenkai2004sp.htm>

参加費：

日本コンピュータ化学会会員 5,000 円（当日 7,000 円）

65 歳以上 2,000 円（当日 3,000 円）年齢を証明するものをお持ちください。

共催学会会員 7,000 円（当日 9,000 円）

学生 3,000 円（当日 5,000 円）

非会員 10,000 円（当日 12,000 円）

懇親会：5 月 20 日年会終了後、会場付近にて、会費 5,000 円

問い合わせ：学会事務局まで電子メールでお問い合わせください。

E-Mail nenkai@sccj.net

URL <http://www.sccj.net>

日本コンピュータ化学会 2004 秋季年会参加者募集

日本コンピュータ化学会 2004 秋季年会が 10 月に豊橋商工会議所で開催されます。積極的な御参加を期待します。詳細は後日、学会ホームページに掲載いたします。（学会のホームページ <http://www.sccj.net>）

主催：日本コンピュータ化学会(SCCJ)

（日本コンピュータ化学会は、日本化学プログラム交換機構(JCPE)と化学ソフトウェア学会(CSSJ)の発展的合意により 2002 年 1 月に発足した学会です）

会期：2004 年 10 月 23 日(土)9:30am 24 日(日) 5:30pm

会場：豊橋商工会議所

豊橋駅東口ペDESTリアンデッキ 5 番階段から大橋通りを北へ約 5 分

http://www.toyohashi-cci.or.jp/gaiyo_bill/index.html

日本コンピュータ化学会 2003 年 10 月度役員会報告

日時 平成 15 年 10 月 25 日 (土) 10:00 ~

場所 広島大学理学部 B 棟 508 号室

出席役員 平野恒夫、細矢治夫、長嶋雲兵、吉村忠与志、時田澄男、中野英彦、吉田弘

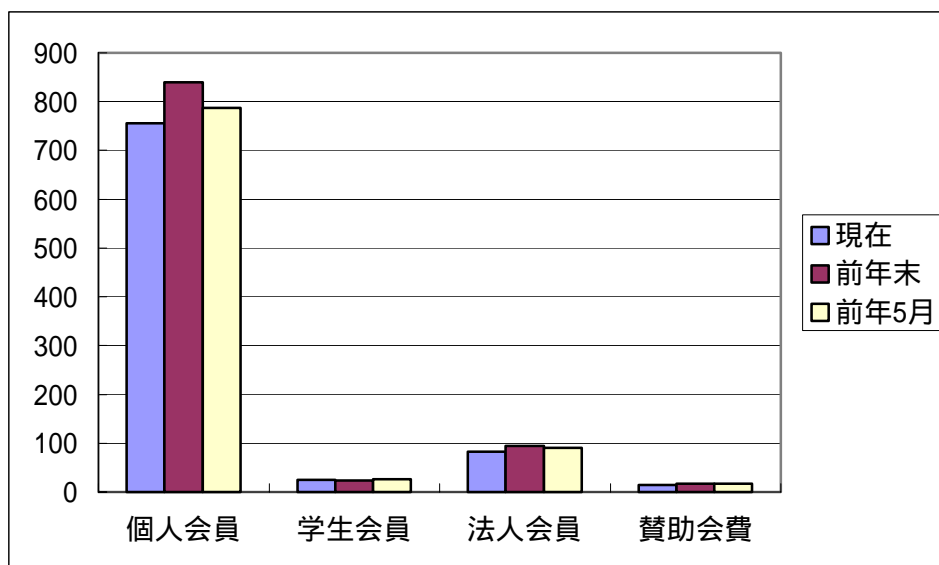
事務局他 太刀川達也 (編集担当の時田理事の補佐役として)、曾々木志穂

下記の事項について報告・審議が行われた。

1 > 報告事項

会員数

	前年末	前年 5 月末
個人会員・・・827 名 (内 71 名未入金)	839 名	787 名
学生会員・・・32 名 (内 7 名未入金)	24 名	26 名
法人会員・・・88 社 (内 6 社未入金)	94 社	90 社
賛助会員・・・14 口	17 口	17 口



現在、会員数 (特に法人、賛助会員) が減少しているため、会員数を増やすように協力して欲しい。との要請が事務局側からあった。

予算の執行状況（9月末現在）

収入の部

科 目		予 算 額	入 金 額
前年度繰越金		2,800,000	2,800,621
会員会費			
個人会費	5,000 × 550	2,750,000	3,592,000
シニア会費	2,000 × 25	50,000	74,000
学生会費	3,000 × 30	90,000	75,000
法人会費	20,000 × 85	1,700,000	1,660,000
賛助会費	50,000 × 14	700,000	700,000
入会金			29,000
別刷り代		800,000	535,000
広告掲載料		60,000	0
預金利息他		50,000	57,850
合計		9,000,000	9,523,471

支出の部

科 目		予 算 額	執 行 額
学会誌編集印刷補助		2,000,000	1,755,000
編集事務委託費		1,000,000	1,000,000
論文電子出版補助		500,000	500,000
学会誌発送費		1,000,000	477,890
事務委託費		1,000,000	1,000,000
年会運営補助		400,000	200,000
通信費		300,000	41,378
郵送費		300,000	79,570
会議費		400,000	55,860
事務機器購入費		500,000	107,895
H P 維持管理費		600,000	295,050
振り込み手数料他			13,168
次年度繰越金		1,000,000	1,000,000
合計		9,000,000	6,525,811

J STAGE2 への移行について（中野理事より）

「科学技術情報発信・流通総合システム(J-STAGE2)」第4回説明会の報告があった。

- ・J-STAGE J-STAGE2 へ
- ・J-STAGE 利用規約の改定について
- ・編集ツールの移行（個々の方法から J-STAGE 統一の方法へ）
- ・投稿審査システムと大会演題登録システムのご紹介

外国からの投稿が増えた。国外から 80%以上の電子投稿。

論文誌投稿状況の報告（時田理事より）

現在手持ち原稿 19 件（電子出版済 1 件、電子出版中 2 件、英文審査済 2 件含む）

秋季年会参加状況と会計報告（吉田理事より）

・講演申込状況

デモ・ポスター発表 28 件（1 日目）23 件（2 日目）

ミニシンポジウム 16 件 計 67 件

・参加登録状況について（登録費支払済）

参加登録 正会員 31 名、シルバー会員 1 名、共催学会会員 3 名

学生 19 名、非会員 7 名 計 61 名

懇親会 28 名

企業展示 4 社 / 富士通、メイズ、マックスネット、ベストシステムズ

広告掲載社 2 社 / マックスネット、NaBiT

10/20 現在の入金金額 802,500 円 支出見込 829,555 円

支出入ともに当日登録費、人件費などの増大により変更があります。

2> 審議事項

2004 年度春季年会について

会期：2004 年 5 月 20 日(木) 9 時 30 分～21 日(金)18 時

会場：東京工業大学大学院社会理工学研究科棟 大岡山西 9 号館 2 階

担当：河村雄行理事

参加費

日本コンピュータ化学会会員 5,000 円(当日 7,000 円)

65 歳以上本会員 2,000 円(当日 3,000 円)

共催学会会員 7,000 円(当日 9,000 円)

学生 3,000 円(当日 5,000 円)

非会員 10,000 円(当日 12,000 円)

懇親会

5 月 20 日年会終了後、会場付近にて、会費 5,000 円

2004 年度秋季年会について

会場は豊橋技術科学大学 担当 船津公人会員

役員の改選について

1月の役員会にて議題として審議

(案)

- ・新規に太刀川達也(埼玉大・工) 中田吉郎(群馬大・工)氏に理事就任を依頼
- ・宮本明理事 久保百司(東北大・工)氏に交代を依頼.

特集号について

- ・特集号の責任者は春季年会の表彰者(1月の役員会で決定)にお願いする
- ・ページチャージは50部無料、追加50部半額、追加100部全額とする等の提案があった。詳細は事務局を中心に検討していく。

横断型基幹科学技術研究団体連合への参加の依頼要請

参加することとした。

日本コンピュータ化学会 2003 秋季年会収支報告

標記年会を2003年10月25日(土), 26日(日), 東広島市の広島大学総合科学部で開いた。会期の間, 晴天にめぐまれ, 参加人数は当初予定していた数を上回り100名に達した。発表者数は, 例年行われているデモンストレーション/ポスター発表だけで, 51件に達し, これだけでも例年を上回っている。今回初めての試みとして口頭発表を, 日本化学会西日本大会との合同ミニシンポジウムとして試みたところ, 16件の発表申込があり, 半日の間にこれだけのシンポジウムの講演数をこなさなければならないという, 非常にタイトなスケジュールとなった。

- ・ 参加人数・・・正会員52名, シニア会員3名, 学生会員26名, 共催会員10名, 非会員9名, 総計100名
- ・ 発表件数・・・記念講演1件, 特別講演1件, 一般講演51件, ミニシンポジウム16件
- ・ 展示企業・・・4社
- ・ 懇親会参加者・・・42名
- ・ 会計報告・・・収入998,000円, 支出998,000円

収入の部				支出の部	
名目	金額(円)	人数(人)	計	名目	金額(円)
事前登録				会場設営費	124,188
正会員	3,000	31	93,000	印刷費	129,487
シニア会員	2,000	1	2,000	会議費	10,000
学生会員	1,500	19	28,500	事務・雑費	90,078
共催会員	4,000	3	12,000	講師謝金	50,000
非会員	5,000	7	35,000	人件費	170,000
懇親会	4,000	28	112,000	年会 HP 設置運営費	108,990
企業展示	50,000	4	200,000	懇親会経費	292,515
企業広告	20,000	2	40,000	バスチャーター代	15,750
小計			522,500	小計	991,008
当日登録				繰越金	6,992
会員	4,000	21	84,000	合計	998,000
シニア会員	3,000	2	6,000		
学生会員	2,500	7	17,500		
共催会員	5,000	7	35,000		
非会員	6,000	2	12,000		
懇親会	5,000	14	50,000		
小計			224,500		
学会からの補助			200,000		
広島大学理学部からの補助			50,000		
その他			1,000		
合計			998,000		

日本コンピュータ化学会 学会賞表彰規定

[表彰の目的]

第1条 本学会は、会員の優れた業績を讃えるために、次の学会賞をおく。

1. 学会賞
2. 功労賞
3. 奨励賞

[受賞の資格]

第2条 本学会の会員で、コンピュータ化学に関する貴重な研究・教育を行った者の中から第1条の対象者を選定する。奨励賞の受賞資格は、学生会員のうち30歳以下のものとする。

[賞の種類・受賞式]

第3条 学会賞の種類は、第1条に基づき、次のように定める。

1. 学会賞：学会活動の中で、極めて優秀な業績を上げ、学術的な評価を受けた者
2. 功労賞：学会活動の中で、本学会の発展に顕著な業績を上げ、功労的な評価を受けた者
3. 奨励賞：学生会員で年会発表した者の中から、特に優秀であると評価を受けた者

第4条 受賞者には、賞状及び副賞が授与される。

第5条 受賞式は、本学会年会開催中に行う。ただし、奨励賞の授賞伝達は郵送をもって代用することがある。

第6条 受賞者は、本学会年会で受賞講演を行うものとする。ただし、奨励賞は除く。

[受賞者の選考]

第7条 受賞者の選考は、表彰委員会が行う。

第8条 選考の細則は、別に定める。

付則 この規定は、平成15年1月1日より施行する。

日本コンピュータ化学会 学会賞表彰規定細則

1. 学会賞表彰者は、本会員から推薦された者の中から委員会で選考する。
2. 受賞候補者に関しては、学会賞表彰推薦書、候補者の業績書および略歴書一式を委員会に提出する。
3. 各賞の受賞基準は、それぞれ以下のいずれかに該当するものとする。

学会賞：学会活動の中で、極めて優秀な業績を上げ、学術的な評価を受けた者、即ち

- ┆ 論文誌各巻ごとで最優秀な論文として学術的な評価を受けた者
- ┆ 独自に化学ソフトウェアを開発・公開してその分野で顕著な利用評価を受けた者
- ┆ コンピュータ支援の化学教育を実践して顕著な教育的評価を受けた者

功労賞：学会活動の中で、本学会の発展に顕著な業績を上げ、功労的な評価を受けた者、即ち

- ┆ 本学会で会長職相当の要職を退任して功労的な評価を受けた者
- ┆ 年會に発表学生を帯同して継続的な学会活動を行い、教育功労的な評価を受けた者

奨励賞：学生会員で年會発表した者の中から、特に優秀であると評価を受けた者、即ち

- ┆ 年會に継続して研究発表して正会員登録の意思表示をした者
- ┆ 研究発表を行い、本学会論文誌に掲載可となった者

学会誌 (*Journal of Computer Chemistry, Japan; JCCJ*) 投稿の手引き (抜粋)

1. 論文の投稿

論文の種類

- (1) 研究論文 (General Paper) : コンピュータ化学に関連する研究および教育に関するもので、独創性のある未発表のもの。
- (2) ノート (Note) : コンピュータ化学に関する断片的ではあるが、創造的な内容を持つ論文。刷り上がり 4 ページ以内。
- (3) 技術論文 (Technical Paper) : コンピュータ化学に関するアイデア・提言や、教材・教具の開発、事例研究などを内容とし独創性のある未発表のもの。
- (4) 総説 (Review) : ある特定の分野の関連論文を網羅的に紹介し、啓発的な示唆に富んだ内容論文。

使用用語 原稿は、英語か日本語を用いて専門外の人にもわかるように執筆する。特に、カタカナによる表現はなるべく避け、文献や注なども活用してわかり易い文章で記述する。

投稿手続き・投稿カード・著作権 投稿原稿は、3部 (1部はオリジナル, 2部はコピー) を下記宛てに送付する。

〒338-8570 さいたま市下大久保 255 埼玉大学工学部 時田澄男研究室気付

日本コンピュータ化学会 学会誌編集室

TEL 048-858-3511 ; FAX 048-858-3511 ; e-mail : tokita@apc.saitama-u.ac.jp

投稿原稿に添えて、投稿 / 著作権譲渡カードを提出する。

編集委員会では、論文原稿の受理を著者宛てに連絡する。審査終了後、再提出が必要なときは、1カ月以内に提出し直さなければならない。再提出原稿も3部提出する。この際、審査意見の各々に対して回答書を作成して添付する。受理や、再提出に関する問い合わせ先も、上記と同じである。

出版形態・ページチャージ 学会誌 (JCCJ) に掲載可となった論文は、まず、電子出版し、つぎに、通常の印刷による出版を行う。電子出版のために、著者は、フロッピーディスクまたは電子メールによるコンピュータ可読原稿を提出することを原則とする。コンピュータ可読原稿作成方法等は、受理通知 (上記の編集室から送付) の後で各個に連絡 (下記の電子出版室から送付) する作成要領で示す。電子出版に関連する問い合わせ等には、下記が対応する。

〒671-2201 姫路市書写 2167 姫路工業大学工学部応用化学科 中野英彦研究室気付

日本コンピュータ化学会 電子出版室

TEL 0792-67-4894 ; FAX 0792-66-8868 ; e-mail : nakano@chem.eng.himeji-tech.ac.jp

論文投稿者は、受理論文が印刷された時点で、表1に示すページチャージを支払わなければならない。別刷りは100部送付される。本学会では、これ以上の別刷りは印刷しない。

表1 ページチャージ(円)

1~2 頁	3~4 頁	5~6 頁	7~8 頁	9~10 頁	11 頁以上
15,000	25,000	35,000	45,000	55,000	10,000 / 2 頁当たり

カラー印刷を希望された場合、上記に 10,000 円 (1 頁当たり) 加算されます。

日本コンピュータ化学会の会員は、学会誌 (JCCJ) を無料で配布される。入会申込は、学会の事務局 (下記) への問い合わせ、あるいは、本学会のホームページ (URL <http://www.sccj.net>) へのインターネット・アクセスによって行うことができる。

〒110-0016 東京都台東区台東二丁目 18-8 台東 K-1 ビル 3 階

日本コンピュータ化学会事務局

TEL 03-5812-1360 ; FAX 03-5812-1351 ; e-mail : entry@sccj.net, office@sccj.net

2. 原稿のまとめ方

2.1 原稿の体裁

(a)原稿は、A4 版 (21.0×29.6 cm) 上質紙を用い、下記の要領で作成する。

(b)論文題名は、2 行の空白行の後、左右 3.0 cm の余白、文字サイズ 16 ポイント、中央揃えで (センタリングして)、Times bold (日本語論文では明朝体太字) で印字する。

(c)論文の概要は、2.5 cm の左右の余白で、9 ポイントの文字サイズで Times font (明朝体) で印字する。行間隔は 1 行とする (約 4.9 cm の中に 10 行)。

(d)キーワードを書く。例 キーワード：分子軌道法、曲線のあてはめ、マルチメディア

(e)本文は、2 段組で 2.0 cm の左右の余白、9 ポイントの文字サイズで、Times font (明朝体) で印字する。

(f)文献および注は、本文中で連続した番号で以下のように引用する。Hosoya *et al.*[1, 2], Yoshimura [3 - 6], Newbold [7], and Hirano [8]。

(g)本文中で使用したプログラムは、その入手方法を必ず記載する。新規に開発したプログラムは、その配布方法を記載する。(以下省略)

詳しくは、本誌 Vol. 1, No. 1 ならびに Vol. 2, No. 1 または、学会誌のホームページ、

URL <http://www.sccj.net/publications/JCCJ/> をご覧下さい。

Journal of Computer Chemistry, Japan Submission / Copyright Transfer Form

主著者の

氏名と

連絡先

Print or Type

Principal

Author's Name

and Address

--

必要なら複製して下さい。

This form may be reproduced.

Telephone: _____ Facsimile: _____

e-mail: _____

I / We submit to *Journal of Computer Chemistry, Japan* the manuscript specified below. I / We certify that the work reported here has not received prior publication and is not under consideration for publication elsewhere in any medium.

Authors (No. of Membership Card of SCCJ in parentheses) and Affiliations:

著者名 (会員番号を括弧内に記載) と所属

Manuscript Title 論文題名 :

Type of Paper: General Paper _____ Note _____ Technical Paper _____ Review _____

Number of manuscript pages: _____; Page charge _____ (Japanese Yen)

Original Source Program File: Enclosed _____ Not enclosed _____

Do you want to distribute the program appearing in the manuscript by way of *Society of Computer Chemistry, Japan* (SCCJ)? Yes _____ No _____

*****COPYRIGHT TRANSFER*****

I / We agree to transfer to *Society of Computer Chemistry, Japan* (SCCJ) the copyright of the above-mentioned manuscript, when the manuscript is accepted for publication in The Journal in any form.

Author's signature _____ (only one signature needed)

Author's Name (in print) _____ Date _____

(日本人の場合は署名捺印して日付を記入)

Currently, whether electronic publication is considered as publication under Japanese Patent Law is uncertain. Accordingly, Article 30-1 of the Patent Law might not apply upon electronic publication.

(以下記入不要)

Manuscript No. :

Date received:

